

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	横須賀ごみ処理施設	階数	地上6F、地下2F
建設地	横須賀市長坂5丁目3878番地他	構造	SRC造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	103 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年10月 予定	評価の実施日	2016年8月4日
敷地面積	125,519 m <sup>2</sup>	作成者	五洋建設株式会社本社1級建築士事務所
建築面積	9,108 m <sup>2</sup>	確認日	2016年8月22日
延床面積	18,650 m <sup>2</sup>	確認者	五洋建設株式会社本社1級建築士事務所



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.2** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質 Qのスコア = 3.2**

#### Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.1

#### Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.7

#### Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 3.0

**LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.2**

#### LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.1

#### LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.4

#### LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		その他
<b>総合</b> 緑地を設けることにより、良好な景観を形成している。		
<b>Q1 室内環境</b> 断熱材の強化により外皮性能を上げているなど温熱環境に配慮している。昼光率を高めに設定し光・視環境に配慮している。F☆☆☆☆建材を全面的に採用し空気質環境にも十分配慮している。	<b>Q2 サービス性能</b> 天井高を高くするなど心理性・快適性に配慮している。階高を高く設定し、壁長さ比率を小さくすることにより、空間にゆとりをもたせている。耐震性を強化し建物の耐用性・信頼性に配慮している。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 敷地や建物の植栽条件に応じた適切な緑地づくりを行っている。
<b>LR1 エネルギー</b> LED照明を採用し、設備システムの高効率化に配慮している。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> リサイクル材を採用し非再生性資源の使用量を削減している。	<b>LR3 敷地外環境</b> 広告物照明を行わないなど周辺環境へ配慮している。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される